

(調査様式1)

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年10月5日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103300
法人名	有限会社 ピースアンドハーモニー
事業所名	グループホーム ローズガーデン
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田二丁目34番15号 (電話) 099-213-0033
自己評価作成日	平成23年9月6日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL

<http://kaken-shakyo.jp/kohyo>

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成23年9月30日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「地域貢献」の基本理念のもと、地域の方に認知症をより正しく、より深く理解して頂く様に施設の持っている情報を積極的に発信していると思う。今後も更に努めていきたいと思う。

また「ケア」についてはICFの視点に基づき、チームが一つになり個々の「出来る事」「出来ない事」をきちんと理解し、「予防」と「チームケア」を念頭に、利用者に関わる事に努めている。

スタッフ個々のレベルアップを目指し、楽しい楽な介護を目指しスタッフの安定した就業場所にもなる様努めている。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・職員は、日々入居者と触れ合うなかで、地域密着型サービスを念頭におき、理念を振り返りながら、グループホームの機能をしっかりと捉えている。また、支援するだけでなく、共に成長しようと努めている。

・運営推進会議や毎月のホーム便りにおいて、認知症についての理解や予防を積極的に発信しながら、ホームと地域との関わりなどを提起して、交流を深めている。

・「認知症について」の冊子の配布や相談事業などについての地域への貢献は、家族や地域・行政に評価されている。また、ホームは地域交流のために、テーブルを囲んで多目的に活用できる広いスペースがある。

・入居者の表情が明るく穏やかで、家の延長のような暮らしを楽しんでいる。

・母体が医療法人であり、医療機関との連携がとれており、重度化した場合や緊急の時など、適切な対応ができるので家族は安心している。

・職員は、チームワークよく、連携が取れている。家族からの信頼が厚い。理念を常に振り返り、ケアの向上をめざしている。また、運営者は、職員が落ち着いて働くように、労働条件等の配慮をしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	利用者と地域の関係を思い、スタッフで作った理念である。ケアで行き詰った時は理念に立ち返る様、意識している。	優しさと微笑みが出会う内容の理念を掲げて、毎朝スタッフ全員で復唱して、意識しながらケアに取り組んでいる。常に理念を共有して実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、地域の行事等に参加している。 地域の方もボランティアで、ひな人形作りや慰問等に来て頂いたりしている。	町内会の役員を担当している。地域の十五夜・校区運動会・すこやかまつり・桜島爆発想定の避難訓練等の行事に参加している。また、ホーム便りを町内会に配布して認知症についての情報発信をしたり、ボランティアなどの受け入れなど、交流が図られている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	認知症をより深く正しく理解して頂く様、地域の集会等で認知症に関する勉強会をさせてもらっている。また、施設で発行している新聞を回覧板により、読んで頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	苦情、事故、外部評価の結果や現状報告等を行い、ご意見を頂き、サービスに活かす様にしている。	会議は定期的に開催している。ホームの取り組み状況や自己評価・外部評価の報告など、意見を交わしている。ホームと地域の交流や認知症への理解や協力が得られるようになるなど、出された意見はサービス向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	介護保険法に関するアドバイスを仰いだり、介護相談員の受け入れ等を行っている。	介護保険法に関するアドバイスを受けたり、取り組み状況や課題などの相談をしている。介護相談員の受け入れや地域包括支援センターとも連携を取るなど、協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束をしないケアについて取り組んでいる。 1階の施錠については立地条件の基、ご家族は良く理解され、利用者は安心していると思う。	日頃から言葉や身体を拘束しないケアについて勉強会をしており、全職員が理解している。1階の施錠については、外部からの侵入を防ぎ、また安全確保のために施錠しているが、家族にも了解を得ており、安心されている。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	虐待については勉強会等で互いに学んでいる。 スタッフの認知症の理解と過度なストレスに注意している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8	○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	学んではいるが、実際に利用されている方はいない。 利用者の方には必ず身元保証人を立てもらっている。			
9	○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	具体的な事例や解りやすい言葉を用いて説明している。普段から不安や疑問など話し易い関係を作る様努め、説明の際、理解納得をして頂いている。			
10 6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時にご意見、要望等を伺う様にしている。 意見箱の設置や家族会の開催やアンケートの実施もしている。	家族の面会時に、利用者の状況を報告し、意見や要望を聴いている。また、家族会やアンケート・意見箱でも把握している。遠方の家族には、便りや電話で対応している。出された意見は運営に反映させている。		
11 7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	会議等で提案や意見を出してもらい、運営に反映する様にしている。また、自由に意見を出せる雰囲気作りに努めている。	申し送りの時や会議等で提案や意見を出している。意見は自由に出せるので伸び伸びと業務に従事している。緊急の時はホームに近い職員が適正に対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	代表者はスタッフに声かける様に努め、待遇を含め環境整備に努力している。		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	多くの職員が外部、内部研修に参加出来る様に計画を立てている。新規採用者には研修計画を立て、業務やケアが理解しやすい様に内容を考えている。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	代表者は、グループホーム協議会での交流、勉強会へ参加する事を理解している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用開始の前に必ず本人に面会し、状態や本人の抱えている不安や希望を把握する様に努めている。サービス開始後も繰り返し聞いて本人の安心になる様に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人とは違う希望や不安も受け入れて理解し、互いに信頼関係が深まる様に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要な支援を見極め行なう様、努めている。他のサービス利用が必要な場合は対応を検討し行ったりしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る事を一緒にに行い、コミュニケーションを取りながら生活している。暮らしの知恵を伺ったりし、スタッフも学べる場となっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	共に本人を支えるという事を理解してもらえる様、家族会等で確認している。しかし、出来る範囲でして頂き、押し付けにならない様に気を付けている。		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	外出の機会を設け、よく利用していた店や町を散歩して頂いたり、昔から付き合いのある友人や職場の同僚の訪問も歓迎している。	馴染みの踊りの先生を訪問したり、コーヒー店に行ったりして家族の協力を得ながら、外出の機会を多く作っている。馴染みの店や街を散歩して、見慣れた場所に触れている。旧来の友人や職場での同僚の訪問もある。	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	話や作業を一緒に行える様に、スタッフは出来るだけ利用者と過ごし、フォローしながらトラブルを予防していく様に努めている。		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	相談があればいつでも受けている。医療、福祉機関の紹介も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>普段の会話の中からくみ取り、スタッフが情報として共有し出来る事から実現する様にしている。</p>	<p>『コンビニに行きたい』『アイスが食べたい』などの思いをスタッフが共有して把握している。困難な場合は表情や言動で意向の把握に努めている。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>資料からこれまでの状態を知るだけでなく、ご本人やご家族からも情報を得る様にしている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>申し送り等でしっかり把握出来る様、日々努めている。プラン作成時もICFの視点に基づく様に計画し、失病についても異変に早く気付ける様、努めている。</p>		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人、家族、スタッフが意見を聞いて作成している。誰が行つても統一したケアとなる様、現状に即し解りやすい文章を使う様に心がけている。</p>	<p>本人の課題とケアについて、本人・家族・職員が意見や意向を聞きながら、現状に即した計画を作成している。モニタリングは6ヶ月に1回行っているが、状況次第で迅速に介護計画を見直している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケア記録より経過記録へつなげケアプランの見直し等行っている。記録の内容も利用者との会話、内容等を記し、経過が解りやすい様に工夫している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族が忙しい時は諸手続き等を代行する事がある。ご本人またはご家族の要望に応じて病院受診等を行っている。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の消防に協力して頂き、避難訓練を行っている。地域の行事にも利用者の方と一緒に参加出来る様に努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の往診や緊急時に対応してもらっている。本人、家族へは、かかりつけ医への納得をもらっている。必要や希望があれば専門の医療を受けられる様にしている。	受診は本人や家族の希望を大切にして、かかりつけ医の受診を支援している。希望があれば病院に紹介状も書いている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとられた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	担当の看護師へ服薬状況や体調変化のあった時の報告、相談等を行い、かかりつけ医との仲介なども行っている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院中も主治医や病棟の看護師と連絡、相談し、一日でも早く退院出来る様にしている。またスタッフも交代で面会に行ったりし、ご本人に安心して頂ける様に努めている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいく</p>	契約時に施設側の方針と重度化への説明をしている。また、定期的に面会の時など今後起こりうるリスク等も話している。	入居時に、重度化した場合のホームの方針を説明している。特別養護老人ホームに移ることも含めて、職員も共有して、家族に説明して同意書をもらっている。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	勉強会で実技を備え、応急処置の実施により実践に活かせる様に努めている。また、申し送り時に事故防止を話し合い予防に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、日中、夜間などを想定し火災訓練を行っている。今年度は地域と一緒に大がかりな桜島爆発の想定での訓練にも参加し、協力体制を築いている。	夜間を想定して、消防署の指導を含む、年2回の火災訓練をしている。夏には、桜島の爆発を想定した訓練に参加して、地域との協力体制を築いている。避難経路や連絡網などマニュアルを作成して掲示している。非常用の備品はある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	入所時に個人情報の確保について説明し納得して頂いたうえで契約書を提供して頂いている。会議等で個人を尊重したケアのあり方について話し合っている。その結果日頃から利用者に対してイニシャルを使ったり、更衣等は居室で行うなどの配慮した声かけや対応を行っている	一人ひとりの人格や、プライバシーを尊重したケアのあり方について、会議等で話し合っている。更衣や風呂場での対応や声かけ等、気配りしながら支援している。個人情報の書類は施錠して保管している。	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	日頃の話の中より本人の希望を聞き出したり感じ取ったうえで本人が選べる様な声かけを行う様にしている。		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	大きなスケジュールは決まっているが過ごし方については出来るだけ希望に沿える様工夫している。		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	毎朝整容を行っている。着たい服を選んで頂いている。散髪については2ヶ月に1度程度、外部の方にお願いしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は利用者の希望を聞いたり時には食材購入も一緒に行っている。食事の準備から片付けまで利用者とスタッフが協力し合いながら行っている。スタッフと利用者が同じテーブルを囲み楽しく食事が出来る様に支援している。	食事を楽しむことができるよう に、利用者の希望を聞いて献立を作成している。施設長が栄養士であり献立をよく工夫してい る。食材の買い物や調理・片付 けを共にしたりして、達成感や 満足感を味わえるよう支援して いる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をして いる	食事量・水分量の摂取量を時間毎に記録している。嫌いな物は他の物で代用したり調理法を工夫したりしている。水分をあまり摂られない方はゼリーにしてみたりと工夫している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に声かけのもと指導し、歯間ブラシ等でチェックを行っている。夜間は義歯を洗浄剤につけていている。コップ、歯ブラシの洗浄も行っている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェックを行い本人の意志や話し合いで決めた時間に沿ってトイレ誘導を行っている。排泄後は濡れたタオルで陰部の清拭を行い、清潔を心掛けてい る。	排泄チェック表を活用して、時間の間隔で声かけてトイレ誘導をしている。立位がとれない利用者も誘導して、スタッフ二人で排尿介助をするなど、排泄の自立に向けた支援をして いる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44	○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝、食物繊維入りの牛乳で補水行っている。日々廊下を歩行したりとチェックし運動を取り入れている。排便のない時は主治医の指示のもと下剤の調整を行っている。			
45 17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は決まっているが順番等は落ち着いている時間帯や本人の希望を尊重している。入浴剤の色や香りを変えたり、1対1で楽しく話を出来る様、話題作りに努めている。話した事など記録しスタッフで共有している	入浴は週に3回実施しているが、本人の希望や体調を尊重して個々に応じた対応をしている。入浴剤の色や香りを変えたり、変化をもたせて、ゆっくりした入浴ができるように支援している。		
46	○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	表情を見て声かけし、自室やソファーへと案内している。室温チェックを行い、次に訪室する時間や行事の時間を伝えていく。またNcにすぐ対応出来る様手元に配置している。			
47	○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	すぐに確認出来る様に服薬説明書をファイリングしており薬が変わった時など申し送り、情報共有を心掛けている。薬箱にしるしをつけてセット後は確認を行っている。症状の変化がある時は主治医と連携をとって早めの対応を行っている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	好きな家事など分担してスタッフも交え会話をしながら行っている。レクリエーションも声かけはするが強要はせずに自由な時間を過ごして頂いている。また、家族が塗り絵など提供して下さっている。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	季節感を味わって頂くため散歩や行事で外に出る時間も作っている。行事は家族も参加出来る様に前もって情報をお知らせしている。また地域での行事にも積極的に参加し、地域の方々との交流を図っている。	日常の散歩や買い物などの支援をしている。地域の行事に出かける利用者もある。また家族と一緒に外食や墓参り・家族旅行等に出かけたり、外出支援を行っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	近くのスーパーにスタッフと一緒に買い物に行かれ、その際に本人の預り金で食べたい物や欲しい物を無理が生じない程度で購入して頂いている。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	希望により家族宛てに手紙を書いて頂いている。電話をされたい時はスタッフが間に入り、家族、本人とも話しやすい環境にしてから話して頂く。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下には利用者の似顔絵や写真制作物などを掲示して目に映る様にしている。リビングには花や皆で作ったカレンダーや飾りなどを設置し、季節や月日など感じれる様にしている。	利用者に季節等を感じてもらえるように、細かな配慮がしてある。毎月、数字を貼りかえるように工夫された手作りの暦や大きい暦で見やすい。ぬり絵等も机上に置いてある。生花は季節の花が生けてあり、栗があつた。採光はやわらかく、共有空間は居心地よく暮らせる工夫がしてある。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングでの個人の席は決まっているが、本人がいない席はスタッフ見守りのもと誰でも座つていい様にしている。ソファーも設置しており、どなたでも座れる様にしてある。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が使い慣れた家具や家族が持つて来られた加湿器など置いたり、本人が見えやすいライト付き時計を置き、毎日清掃を行ない清潔を保っている。	ラジオや加湿器・時計・馴染みの家具などが持ち込まれている。家族写真や好みの歌手の写真などが貼ってあり、個性のある部屋づくりで楽しんでいる。居室の入口は分かりやすいように工夫されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室や廊下に手すりを設置し、自力で移動しやすい様にし、掃除や家事等も個々の力に応じてされている。常にスタッフが見守り、事故の無い様に声かけを行なっている。		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目 : 23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目 : 18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目 : 38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目 : 36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

			1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目 : 49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目 : 30, 31)		2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目 : 28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目 : 9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

			1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)		1 大いに増えている
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)	○	2 少しづつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目 : 11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない